

## 3

6つの視点

## 3つのデザインコンセプト

コンセプト 1

自然を感じる空間

人々の集い

## 四季を感じ、みんなにやさしい空間が、多様な人々をつなぐ

これまで電車が走っていた鉄道敷に、季節の彩りと潤いがもたらされます。四季を知らせる木々や草花が、私たちをホッとさせてくれます。集まって賑わいを楽しむ人も穏やかに散歩したり静かに物思いにふける人も、老若男女の誰もが一年を通じて安心して心地よく過ごすことのできる空間です。

人に馴染みやすい形や大きさを“ヒューマンスケール”と呼ぶことがあります。私たちに安心感をもたらすやさしい心づかいがデザインのそこそこに散りばめられています。通勤通学、買物や散策で過ごすひとときが楽しい場所となるように、きめ細やかな配慮がなされています。そしてここでは、個性豊かな様々な人々のふれあいや出会いが生まれます。

コンセプト 2

街の記憶

街の風景

## 街の記憶や風景を映し、3駅につづく新たな路が、私たちの地域をつなぐ

街にはそれぞれ人々の暮らし方があります。鎌倉街道やお社、祠（ほこら）などが伝える歴史の面影、今に続く賑やかな街並みと落ち着いた住宅地の佇まい、さらに現在も多くの人々を運び続けている小田急線の線路としての記憶も大切にされています。

それらが街に独特の風景を生み出してきました。東北沢駅、下北沢駅、世田谷代田駅を結ぶ新たな路には、地層のように折り重なった周辺の街の記憶が映し込まれています。この街で暮らした人たちの知恵を現代に活かしつつ、あたたかも“都市の中の回廊”のように結ばれ、3つの駅から広がる3つの地域に新たな街の風景が創られます。

コンセプト 3

空間の変化

市民の関わり

## みんなで創り育て、ゆるやかに変わる場所が、時を超え心をつなぐ

街を見守り、将来にわたって関わり続けたいという人々がいます。その想いを子どもたちに伝え育てたいという人々がいます。小さい頃の思い出が、大きくなった時にも懐かしく思い出せるように、人の成長に合わせて少しずつ変化していく流れを大切に、時間をかけてゆっくりとまちづくりが進められています。

新たな街に人々が集まり、キラッと光る場所や活動があちこちに見られます。温かく育まれた緑、個性を伝えるアート、ふれあいを深めるイベント、その主人公は私たちみんなです。そして、一つひとつの活動の積み重ねが地域の文化となり、次の世代、その次の世代まで、尊い想いをバトンタッチしていきます。

は、上部利用デザインワークショップにて、これまでに出てきた意見を基に、各デザインコンセプトが持つイメージストーリーを事務局で作成したものです。